

2023年 西糀谷しろはと保育園 事業報告

1. 概要

①運営報告

- 保育所における子どもの安全確保について安全計画書の策定が義務化されたことで、災害時の備えや、日々の安全保育、熱中症対策など幅広い視野の中で、安全管理について見直していきました。また、毎月のおたよりを利用して保護者への安全計画の内容や、園の災害に対する考えを知らせ、保護者の理解を得るように活動しました。さらに、地域との連携の中で情報交換、情報共有することで災害に対する園の運営方法を再確認することができました。
- コロナが5類に移行したことで、地域との交流や地域支援をコロナ前の活動に戻すことができました。
保護者参加や地域参加の行事も、内容や方法・場所・時間などを今後につながるように検討して再開することができました。
- 毎年行っている木育活動を、親子参加の機会を設け実施していくようにしました。東京都の木育事業計画やCO2問題を木や森についての講話から自然への理解を深め、身近な存在としてとらえ感じ取ることができるように木育活動と合わせて実施しました。
五感が豊かな乳幼児期に自然に触れ体感し健やかな成長を促すように今後も計画していきます。
- 保育士の人材確保の視点から東京都の「働きやすい職場宣言事業所」として更新し認定を継続しています。
職員は家庭環境状況に合わせて常勤・非常勤を選択しながら仕事をしておりさらに今年度公休数が増えたことで仕事と育児の両立を図ることができ保育体制の確保ができました。
- 事務の簡素化やペーパーレス化を図るために、職員の出退勤管理・園児の日常記録や登降園管理など幅広く、電子化を取り入れていきました。23年度の指導検査でもパソコンでの検査が主流となり、時間の短縮になりました。

②定員 129名

②事業日数 294日（年末保育の12月29日、30日を含む）

③開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
年末保育期間 7時30分から18時30分

④保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑤職員数 園長 1名、主任保育士 1名、副主任1名 保育士 19名
非常勤保育士 8名、看護師 1名、嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む
- 働く保護者と信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさのある子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	おたまじゃくし組	12名	保育士4名	看護師1名
1歳児	めだか組	18名	保育士4名	
2歳児	かに組	24名	保育士4名	
3歳児	かえる組	25名	保育士2名+フリー	
4歳児	とびうお組	25名	保育士2名+(非常勤1名)	
5歳児	くじら組	25名	保育士2名	

主任保育士1名

障害児担当加配保育士 2名 (有資格者・パート)

フリー保育保育士1名

早朝・延長保育担当保育補助9名

園児 計129名 保育士 29名

⑤保育内容

- 乳児は小グループを中心に子どもの姿を捉えた環境構成や援助の仕方など職員間で話し合いながら保育を進めていきました。また家庭環境が乳児期からスマホやタブレットなど一方的で刺激の多いIT環境が増えており、子どもとの応答的な対話を大切に保育をし、発達に合

わせた環境を整えながら日常保育を大切にしてきました。

- 異年齢交流について朝夕の日常保育の時間や日中の保育活動時間に保育士が計画的に立案し実施してきました。また、世代間交流についてはコロナ後でもかかわりが少なくなりましたが、地域のお年寄りからの卒園児へのプレゼントを通してかかわりを再開しています。また、小学生や中学生の体験学習が再開し、子どもの保育環境を豊かにして人と関わる力や思いやりをはぐくむ保育を進めていくことができました。
- コロナ後の子どもたちの体力の低下や生活リズムの乱れが気になり、体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊びと週1回の体育遊びを日々積み重ね、また散歩の回数や距離を伸ばし子どもたちの体力回復に努めてきました。生活リズムについては東京都の（そうだ、やっぱり早寝・早起き）の取り組みの冊子を活用し家庭にて親子で生活リズムの目標を決めて取り組み、それを園で確認していくなど家庭と一緒に生活リズムの改善に努めました。
- 子どもの表現力を豊かにする造形遊びを毎月実施し、作ったもので遊ぶ楽しさを経験することで子どもたちの造形への興味が増してきました。また年長児を対象に年間4回木育活動を行い木とのふれあいで箸やスプーン製作、のこぎりを使用してバードコールを作るなど自然への興味や関心を広げ、さらにCO2削減問題に触れるなど幅広く学ぶことができました。
- 季節の行事や園の給食への興味を広げるために給食委託業者と連携を図り、色々な食材の皮むきやおにぎり作り、お月見のお団子作りなどの食育活動を行い、「みる・ふれる」などの実体験を通して子どもの食事への興味を広げていきました。また栄養士よりパネルや絵本を通して日本の文化を取り入れた食育について学ぶことができました。

⑥家庭との連携

- 保護者との連携がスムーズにできるように、安否確認メール配信サービスのトヨクモを使用して園の日常活動を知らせ、その他、園からのおたよりや写真はチャイルドケアアプリで配信をしました。保護者は事前に休みの連絡ができるため便利になり、さらに登降園の確認も電子化したことで、子どもの所在をしっかりとらえることができるようになりました。
- 保護者会では、保育理念、保育目標を年度当初に伝えるとともに少人数での懇談会を計画して保護者同士のコミュニケーションを図り保護者の育児の悩みを共有し軽減できるように取り組みました。短い時間ですが保護者同士の交流は好印象でした。また年長の保護者を対象に「幼児期に育てたい10の力」を取り入れた内容の講演を専門の講師にいただき「具体的に伝わりやすかった」との感想が多く聞かれました
個人面談（年1回、また随時受け付ける）、保育参観や保育参加（年1回）を実施して園での子どもの様子を理解し今後の子育てのヒントになるように努めました。土曜日限定して実施してきた保護者会を、年1回は夕方の保育時間を利用するなど改善しましたが、在宅勤務が増えており、参加人数には問題がありませんでした。
- 保護者からの要望や意見は、行事や保護者会の後に必ずアンケートを取り集約し、保護者にフィードバックしてきました。クラスの保護者会については紙ベースで回収していますが、利用者アンケートなど全体へ周知するものは電子化に変更していきました。

- 今年度から安全計画について、保護者への周知についても義務付けられ毎月のおたよりで園の取り組みを伝えてきました。保護者の危機管理意識を高める為に、避難訓練の内容や、職員研修内容、など災害対策や日常の安全管理への取り組みなど幅広く伝えることができました。また、大田区の取り組みや地域での災害対策についても地域交流で得た情報を保護者に伝えてきました。
- 4年ぶりに親子・卒園児参加の夏祭りや、運動会を行いました。一人の子どもに両親や祖父母と多数の参加がありましたがどの家庭も子どもたちの笑顔に満足されていました。日本の文化とされる行事を通して家族のきずなが形成されていく過程を大事にすることができました。

⑦地域の実態に対応した事業

- ホームページを活用し子育て支援の「よちよちタイム」年間計画を立て参加を募りました。パネルシアター（年3回6組）、ベビーマッサージ（年3回13組）バランスボール（年3回22組）焼き芋会（1回1組）チェロのコンサート（3組）パートナー登録83名など多くの地域支援を行うことができました。また、また地域向けにホームページを活用し手遊びや、わらべ歌遊びなどを掲載し各300回以上の視聴があり、子育て支援へ繋げることができたことを確認できました。
- 「糎谷・羽田地域保育施設会議」が年間2回行われ、大田区安全計画の取り組みや各園の安全対策、地域交流などについて情報交換を行いました。その後、地域園の起震車体験に参加させていただくことができ良い交流の場となりました。
また、「糎谷地区子ども地域会議」が年間2回実施され、大田区の児童相談所の開設に向けて、またコミュニティースクールの推進についてなど、大田区が中心となり地域との情報を共有する機会があり大田区や糎谷地域の取り組みを理解することができました。
- コロナ後ようやく公立保育園と他の園との三園交流を年間7回実施することができ、運動会の出し物や、生活発表会の出し物を見せ合いをしたり、ドッチボール大会や園庭で一緒に遊ぶなどの交流を深めました。子どもの社会性を広げることができる良い機会となりました。

地域社会資源との連携

- 地域小中学校との交流では職場体験（中学校4校）学校訪問（小学校2校）園との交流（小学校1校）など幅広く交流をすることができました。体験を経験することでお互いが学ぶ機会を得ることができました。
- 地域行政、民生委員、保健師などと連携を強化し歯磨きの指導や感染症防止についての対応についてアドバイスを頂くことができました。
- 保護者や地域、職員の意識向上を図るために大田区の危機管理課に依頼し、防災教育を実施しましたが17人の参加でした。大田区の取り組みを聞き各家庭での災害対策の見直しができることや「一時避難場所」についての大田区の見え方について確認し、保護者に周知する良い機会となりました。

⑧小学校との連携

- 保幼小連絡協議会での意見交換や情報交換を行い、就学支援シートや保育要録を通じて園児の引継ぎを行いました。また、小学校での展覧会への参加が行われるようになり年長の作品を展示させて頂きました。さらに地域の2校を見学に行く機会があり授業参観や小学生との交流を行い、ランドセルを背負う体験や国語、算数の模擬授業をゲームあそびの中で体験し、就学に向けての学校への期待を持つ機会となりました。

⑨人材育成

- 処遇改善Ⅱがキャリアアップ研修の内容や回数など具体的に制度が示されたことで職員へは自主的に研修への参加を呼びかけました。結果オンライン研修を中心に大田区の乳児保育、障害児保育、子育て支援・食育、0歳児保育とほとんどの職員が専門リーダー、職務分野別リーダーとしての権利を取得することができました。処遇改善だけではなく研修を通じて職員の質向上に努めています。
- 不適切な保育が社会的問題となり、大田区では園長研修を中心に職員への周知を目的に実施されました。当園では定期的な自己評価をしながら保育の見直しを行い、具体的な事例をあげながら「子どもを尊重する保育」を基本に人権擁護のためのセルフチェックを行い、職員の専門性の向上を目指しました。
- 職員全体が保育に対する意識を共有し進めていくことが出来るように定期的なリーダー会を実施し保育内容の統一を図り、職員研修計画として（危機管理対策・地域支援・食育・乳児保育）の4Gに分かれて園内研修をしました。危機管理対策では毎月の避難訓練の見直しから、BCPの確認、また災害時の初動活動としてファーストミッションのマニュアル作成について考えていきました。また、乳児保育Gでは不適切なかかわりについて考え「子どもへのことばかけ」について主任が中心になりグループ討議を重ねていきました。
- 看護師の業務の再確認と保健業務の手引きを見直し看護師の役割を見直しました。年間計画を基に、感染症やAEDの使用方法・プライベートゾーンについて・鼻の噛み方、視力検査・プールの約束・我慢の脳みそ・エピペンの使い方など幅広く職員や子どもへの指導を行いました。また、普通救急救命講習を受け技能認定書の再認定を全員消防署にて取得することができました。今後も定期的な訓練を継続していきます。
- 業務委託のミールケアに依頼し、季節の食事を取り上げた献立や行事食について子どもたちに話をしたり、子どもの好きな献立を保護者向けに配信し、食についての興味を広げていきました。また、アレルギー児の献立（卵・小麦粉・乳製品）や宗教食・その他の食事への対応が複雑になり、多くの個別配慮が必要となりました。月末に献立の確認をし提供時も丁寧に確認作業をしていき誤食防止に努めました。アレルギーについては食べさせながら改善していくことが主流になり、さらにエピペンを預かるなど保護者の方も医師と相談しながら改善の方向に努めていました。

⑩ 苦情処理

- 保護者の必要とする情報は、丁寧に繰り返し伝える工夫を心掛けるとともに、クラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任がさらに対応し、クラスと保護者の信頼関係を深めるように努めました。

⑪ リスクマネジメント

- 全国で報道されていた送迎バスの事故を機会に大田区では「私立保育園送迎バスなど安全対策費」として必要な予算が計上されました。当園では、午睡チェックセンサーを0歳児人数分と災害時使用の電話・熱中症対策・室内の安全対策費として140万を申請しました。また、安全計画策定を基本に施設、設備の安全点検（備品、遊具や防災設備、避難経路など）と共に、各クラスの環境の安全面点検を月に1回実施し、職員のリスクマネジメントに対する意識を高め、子どもへの安全指導、保護者への説明・共有、実践的な訓練や研修の実施（救急法、様々な災害を想定した訓練）を行いました。またヒヤリハットの改善を行い活用しやすい内容に変更、再発防止に取り組みました。
- 家庭で常備薬が必要としている子どもの為に、災害時を想定し、保護者や医者と相談の上内服薬を園で保管することになりました。また、エピペンについても医師の指導の下園で預かるようになりました。
- 防災計画に基づいた避難訓練を実施し、万一の大震災、非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法（一斉送信メールの活用など）職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い職員に周知していました。また、食糧や救急用品など備蓄品についての点検を4月と防災の日の9月に実施し、災害時持ち出し品を年長、年中のみ個人用を購入して頂きそれを非常時に各自持ちだし避難する訓練を実施しました。期限切れまじかの備蓄食品については実際に調理し職員の給食として試食をしました。
- 社会福祉施設における災害時に備えたライフラインなどの点検の見直しを行い、業務継続計画を元に「災害への備え」を定期的に確認を行いました。さらに、洪水時の避難確保計画の作成と同時に職員の配備態勢を見直し周知を徹底しました。また、消防署の指導より、スマートホン使用時のみですが救急車が向かうまで動画でのライブ配信（ライブ119）が電話での指導があることを学びました。
- 職員と保護者も含めた、防災の研修を実施し意識を高めるとともに、災害時の緊急連絡体制「トヨクモ」への登録と配信後の確認を徹底していきました。
- 災害時は電話が繋がらないことを想定し、あらかじめ複数の連絡手段を決め、保護者に伝えるとともに、IP無線機を活用しての訓練を実施するように徹底しました。無線機の使い方職員が慣れてきました。
- 日常の小さな事故の記録を継承し、職員の安全保育への意識を向上させ事故や怪我の減少に努め保育のあり方をチェックできる仕組みを構築し、さらに個人情報保護のために、データの管理についてもチェック項目を設けて管理場所、数、など表にして確認をするように改善しました。

⑫その他

- 東京都のCO₂対策で空調工事の補助金の申請をしました。3分の2の補助が出るという事で業者に依頼し「ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業」として助成対象額が¥13,633,100円 交付決定が¥9,088,000円となりました。R6年度に工事を行います。
- 大田区の指導検査がありました。安全対策が中心となり保育室の確認や昼寝、環境の確認などをしていきましたが、特に指摘事項はありませんでした。
- 子どもの人数に変化はありませんが、今年度年末保育の利用が4名で29日のみの利用でした。また、延長保育の利用も減り7名で始まり年度終わりには3名になりました。保護者の働き方が変わり、どの園も少なくなりました。
- 職員の出退勤管理、帳票類の見直しを行いICT化を進めていきました。また、チャイルドケアウェブを活用し、子どもの日誌や児童票などを記入し、さらに園だよりやクラスだよりなど紙媒体を少なくしたことでペーパーレス化を図ることができました。



西糀谷しろはと保育園

2023年度年間行事

月	行事	保護者参加行事	地域活動
4月	進級式 3日(月) 入園日 3日(月) 造形遊び 20日(木)	くじら組保護者会 22日(土)	
5月	こどもの日の集い 9日(火) 造形遊び 18日(木) パネルシアター 26日(金)	かに・とびうお組保護者会 くじら個人面談 15~26日	パネルシアター
6月	エールの運動遊び 6日(火) 造形遊び 15日(木) 縄跳び遊び 29日	めだか・かえる組保護者会 17日 個人面談 おたまじゃくし保護者会 10日	
7月	夏祭り 6・7日(木・金) トムテ 10日(月) 造形遊び 15日(木) サマーコンサート 21日		夏祭り
8月	パネルシアター		バランスボール 26日
9月	防災の日 1日(金) 造形遊び 7日(木) パネルシアター 22日(金)	引取り訓練 1日(金) 運動会 30日(土)	バランスボール 16日
10月	造形遊び 5日(木) エール運動遊び 20日(金) 園外保育 24日(火) チェロとピアノのコンサート 20(金)	めだか・かえる保護者会 10/2~10/13 とびうお 10/16~10/27 おたまじゃくし 10/16~10/20 かに 10/23~11/8	バランスボール 21日 チェロとピアノの コンサート 20日
11月	トムテ 6日(月) いもほり 9日(木) 焼き芋 21日	保育参加 個人面談	ベビーマッサージ 11日

	造形遊び 16 日 (木) パネルシアター 24 日 (金)		
12 月	生活発表会かえる、とびうお組 9 日 (土) お楽しみ会かえる 15 日 (金) 餅つき会 21 日 (木) 造形遊び 14 日 (木)	かえる・とびうお・くじら組 保護者会	
1 月	新年子ども会 10 日 (火) 造形遊び 18 日 (木) サッカー 29 日 (月) パネルシアター 26 日 (金)	めだか組保護者会 26 日 (金)	ベビーマッサージ 20 日
2 月	節分 3 日 (金) トムテ 8 日 (木) 造形遊び 15 日 (木) エール運動遊び 20 日 (火)	かに、とびうお組保護者会 3 日 (土) おたまじゃくし組保護者会 9 日 新入児健康診断 27 日 (火)	
3 月	ひなまつり 1 日 (金) 新入児健診日 () パネルシアター 8 日 卒園式 16 日 (土) 造形遊び 28 日 (木)	新入児健康診断 1 日 (水) 卒園式 18 日 (土)	パネルシアター

※ 毎月・・・計測 避難訓練 0 歳児健診の実施 ※その他 歯みがき指導 (年間 2 回)

※ ボランティアの活用 ※木育活動

※ 造形遊び (月 1 回)・体育遊び (週 1 回)・英語で遊ぼう (週 1 回) 実施

※地域活動を園児と一緒に参加にしていきます。

※トムテ・・・木のおもちゃで遊ぶ